

コスモスの架け橋

和歌山県立紀伊コスモス支援学校

支援教育部 令和7年度



～コスモスしえんだより～

R7年度 紀伊コスモス支援学校のセンター的機能について

教育相談・巡回相談（随時受付）

気になる子どもへの対応方法、子どもの実態把握や支援について、特別支援学級での学習内容や環境設定についてなど、ケースに応じて相談をお受けします。



研修の協力（随時受付）

「インクルーシブな教育について」「自立活動について」

「気になる子どもへの対応について」

など、各校のニーズをお聞きした上で現職教育の協力をさせていただきます。



特別支援教育に関する相談・情報提供（随時受付）

就学や進路に関する相談や情報提供(学校見学や体験入学含む)、合理的配慮や、個別の指導計画、つなぎ愛シートの活用についての相談や情報提供を行います。



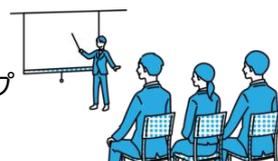
サマーセミナー ※ 場所:紀伊コスモス支援学校 8月4日(月) 予定

地域の先生方向けの研修です。本校の校内環境の見学や自立活動の教材展示に加え、授業の体験を通して、先生方同士の情報共有の場になるよう企画中です。



公開研究会 ※ 場所:紀伊コスモス支援学校 11月26日(水) PM 予定

今年度は、算数・数学科の研究を各学部で進めています。授業動画視聴後、グループ協議を行い、専門の先生方からご助言をいただきます。



※ 詳細は、後日案内を配付し、HPにも掲載します。申込についてもそちらをご確認ください。

教育相談の方法

- ・電話による相談
- ・本校に来ていただいでる相談
- ・本校から訪問しての相談

教育相談等 申込について

申込はお電話で「教育相談の依頼です。」とお伝えください。

紀伊コスモス支援学校 073-461-6500 担当:西浦

ホームページのご案内

本校のホームページを随時更新しています。授業紹介、自立活動の教材紹介や、各種研修会のご案内、本校の教育活動の様子等を見ていただけます。ぜひ、ご覧ください。



■教材名	おべんとうぼこ
■児童生徒の実態	*生活や学習上で児童生徒が困っていることなど 授業時にお箸を使って食べる練習をしているが、まだなかなかやりづらさがあり、時間がかかる。
■指導のねらい	この教材を使った授業を通して、つげたい力 手指の操作性の向上
	■自立活動の選定項目（区分??項目） 【例：身体の動き（1）心理的な安定（2）】 身体の動き（1）
	■指導方法（やり方や手順の説明） お弁当包み、お弁当箱を開けて、お箸を使って中身を器に移す。終わったらまたお弁当箱に戻して片付ける。お箸の出し入れや、お弁当箱を包むまで一人で行う。
■ひとこと（えっへん）	うまくいった点、または課題や改善点等 お弁当の中身は、お箸でつかみやすい簡単な物（スポンジ、ポンポン）から始めて、徐々に難易度を上げていく。お箸を使う前に親指と人差し指でポンポンをつまんで移したり、箸1本を持ってポンポンを転がして的に当てたりしている。



交流及び共同学習について

昨年度も本校のこども達が、居住地域の小・中学校で交流及び共同学習に参加しました。（小学校14校37名、中学校5校18名、計19校55名）また高等部は、那賀高等学校野球部、市立和歌山高等学校野球部と、それぞれスポーツを通じて交流を行いました。

関係の先生方には、改めて御礼申し上げます。

今後も、こども達がお互いの良さや個性を知り、充実した学習を受けられるようにするためには、教員同士が校種の違いを超え、協力することが欠かせません。誰も差別されることなく、人権が尊重される社会を目指し、紀伊コスモス支援学校は地域の小・中・高等学校と連携し、交流及び共同学習を推進していきたいと思ひます。今後もよろしくお願ひいたします。



※那賀高等学校・市立和歌山高等学校との交流の様子です。